

雲南 チャレンジつなぐ雲南 子ども×若者×大人

道を拓く 三高 総合学科 2016

新入生131名を迎えて



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第107号

三高生活と将来の青写真を描いた三瓶宿泊研修 4/20~22



フレッシュマン・セミナー

迷える新入生？

道標を探る三高キャリア教育のスタート

プログラム

- 4/20(水)
 - 入所式
 - 職業探究講座
 - 講師: 下村啓介氏 (キッズ・コーポレーション)
 - 仕事調べ(個人活動)
 - マップ講座
 - 講師: 脇田鉄樹氏 (キッズ・コーポレーション)
 - 仕事調べ(班活動)
 - 学習・面談
- 4/21(木)
 - 仕事調べ(班活動)
 - 仕事調べ(クラス発表)
 - 仕事調べ(学年発表)
 - 学習・面談
- 4/22(金)
 - オリエンテーリング(写真左)
 - 退所式

柱は「仕事調べ」



学びの成果をプレゼンで

↑蚊に刺されて頭がかゆい？ わけではありません。慎重に進路目標を確認しているのです(最終日のオリエンテーリング)。

「以前の学校評価保護者アンケートの中に、次のようなご意見がありました。『将来の職業、何がしたいのか、自分にあっているかが、まだ分からないので、この教科が得意とか、好き!の前に、いったいどういう職業があるのか、具体的に教えてほしい。本人もまだ目標が決まらない様子(原文のまま)』と。世の中にどんな職業があるのかを、教員が教えるスタイルではなく、調べ学習の形態で、主体的に学ぶのが入学直後の今回のセミナーです。

入学式から10日後のフレッシュマンセミナー結団式で恩田校長は、入学式の式辞で説いた「皿を洗い、皿を割れ」の言葉をあらためて紹介し、新入生を激励した。

「皿を洗わない人は、皿を割ることもない。割ってもいいから、どんどん皿を洗え」と言い換えれば「どんどんチャレンジ・挑戦せよ。失敗を恐れるな」という意味だ。この言葉は、『私がくまモンの上司です』ゆるキャラを営業部長に抜擢した「皿を割れ」精神(祥伝社)の著者、熊本

『皿を洗い、皿を割れ』

恩田校長激励の言葉

入学的から10日後のフレッシュマンセミナー結団式で恩田校長は、入学式の式辞で説いた「皿を洗い、皿を割れ」の言葉をあらためて紹介し、新入生を激励した。

「皿を洗わない人は、皿を割ることもない。割ってもいいから、どんどん皿を洗え」と言い換えれば「どんどんチャレンジ・挑戦せよ。失敗を恐れるな」という意味だ。この言葉は、『私がくまモンの上司です』ゆるキャラを営業部長に抜擢した「皿を割れ」精神(祥伝社)の著者、熊本

皿を割れ』

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

※本日はPTA総会へのご出席、ありがとうございます



3年生は広島へ遠足に

つながろう三高
つながろう雲南

如己愛人

戦後71年
オバマ大統領の広島訪問に注目が集まる。アジア近隣諸国には、日米両政府の言動を心配する向きもあるが、広島・長崎が被爆した事実は変わらない。戦争における加害の歴史と被害の歴史を客観的にとらえつつ、核兵器と戦争のない平和な世界を構築するための動きと輪を大きくしたい▼現在は米国で生活する広島被爆者の笹森恵子さん(83)は共同通信のインタビューに対し、「大統領には被爆がどんなに大変だったのか広島で感じてほしい。謝って欲しいとは思わない」と述べた。

その声に異論もあるかもしれないが、彼女の願いは大統領の謝罪以上の、ただただ核兵器のない平和な世界の実現なのだ▼笹森さんの声に、島根が輩出した永井隆博士や加納莞菴(辰夫)の姿に共通する熱い思いを感じるのには、私だけではないだろう▼戦後70年の昨年は戦争関連の各種報道も多く、高校生も自分なりに平和な世界観を持つきっかけの年になった。戦後71年の今年を、単なる戦後70年の翌年にしたくはない。異なる意見にも耳を傾けつつ、昨年以上に自らの考えを再確認したい。そのためには高校生も大人も、氾濫する情報を読み解く力(メディアリテラシー)を養うことに意を注がなくてはならない。主権者としての必要条件だ。(編集長記)

【校訓】昭和5年制定

誠実・剛健
礼儀・規律
勤労・勉勵

三刀屋高校の総合学科は、知識や技能を学ぶだけでなく、判断力や思考力、表現力や問題発見・解決力を習得しながら、「学ぶこと」と「生きていくこと・働くこと」とを結びつけ、社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

平成25年度からの3年間は、県教委の「地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校」の指定を受け、今年度の10月には総合学科の全国大会が本校を会場に開催し、取り組みの成果も発表します(入学式での校長式辞より)。

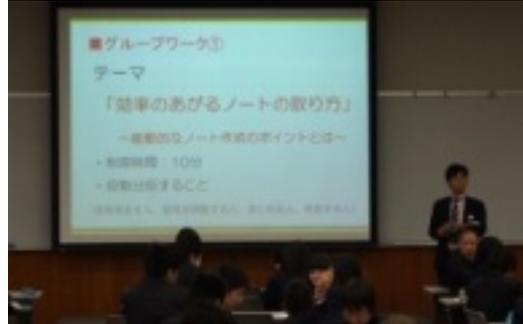
これから
三高生に期待する今年度の 勉勵

入学式&対面式



入学式直後には、新入生と上級生の対面式も。

4月9日(土)に挙行了した第69回入学式では、新入生1331名を代表して毛利優希さんが「新しい仲間とともに、将来の夢や目標を実現させるために、日々の勉学や部活動等に積極的に取り組み、悔いのない3年間を送りたいと思います。」と力強く誓いの言葉を述べた(写真中)。



講師の蔵下先生は、授業に能動的に臨むことを求め、
 ・板書の書き写しではダメ!
 ・自分自身が理解できたものを書くこと!
 ・ポイントは「予習」であると説き、後日ノートを見て授業を思い出せるかどうか、つまり「復習」に使えるノートか否かが重要と力説した。

1年
 総合学科3年間の学びのスタートラインに立つて

『効果の上がるノートの取り方』

▽講師/蔵下克哉氏 (キッズコーポレーション専任講師)

また、ノートを使った予習については、自分の弱点がわかるとともに、授業が復習に
 「ノートを使った復習のこ

1年生の授業「産業社会と人間」では、本校図書館の渡部司書の助言と指導をもとに、調べ学習の基礎基本を学んだ。

「図書館からはじまる『学び』のガイド」



総合学科1年次の授業「産業社会と人間」(週2時間)を使い、様々な学びを体現します

昨年度の良い出席状況をベールに、恩田校長は1学期始業式の講話と翌日の入学式の式辞で、何事にも受け身ではなく、「学校が自分のために何をしてくれるか」を待つのではなく、「自ら何ができるか」を考え、目標に向かってチャレンジ精神を持って高校生活を歩んでほしいとエールを送った。「自分はこのままで」と線を引かず、学習に部活動に、アクティブに挑戦する姿勢を求めた。

始業式では、開校間もない昭和5年に制定された校訓を紹介する中で、礼儀正しく元気な挨拶ができる本校生に対し、今年度は今一歩「勉勵」に心がけてもらいたいと激励した(写真下)。



「産業社会と人間」の2時間で

ツ」に関しては、
 ・当日または次の日までに目を通すこと!
 ・復習で授業の再現ができるかが大切!
 ・できるだけノートをたくさんとることで、記憶の定着度がアップする!
 と助言していただいた。

※ 当日の配布資料に基づき、講演要旨を学校HP(新着情報4/15付け)にも掲載してあるので上級生もぜひ参考にしてみてください。

高根県高等学校図書館研究会が発行した写真の「図書館からはじまる『学び』のガイド2016」や、渡部司書が作成した資料をもとに、調べた事柄に適した書籍資料の探し方、調べる手段や参考図書についての助言を受けた。
 2時間枠の後半では、与えられたテーマについて「百科事典」「国語辞典」「世界国勢図会」「現代用語の基礎知識」等、本校図書館に所蔵する書籍を駆使してレポートを完成させた(写真)。今後のアクティブな「学び」に役立ててもらいたい。
 また、この時間と前後して1年生各クラスは、「図書館オリエンテーション」で図書館利用方法全般について説明を受けた。

家庭科(3年調理)

スイーツ甲子園出場をめざす調理の達人6名



家庭科の授業「調理」を選
択する3年生6名が、貝印株
式会社が主催する第9回貝印
スイーツ甲子園(優勝賞品/
豪華パリ研修旅行)への応募
をめざし、授業で試作品を作っ
た。
頑張れ三高生!
調理の達人といわれる
その日まで!?

錦織良成監督映画『たたら侍』を勝手に応援するシリーズ

斐伊川今昔物語 第20回



「日本遺産」登録

出雲國たたら風土記く鉄づくり千年が生んだ物語

雲南市・奥出雲町・安来市の3市町
で構成する鉄の道文化圏推進協議会が
認定申請していた雲南圏域のたたら関
連遺産が「日本遺産」に登録された。
昨年(応募第1弾)では18件(応募83件)
が認定され、2度目となった今回は新た
に19件(応募67件)が「日本遺産」に認定
された。有形・無形の文化財を織り込ん
だ「ストーリー」を通して、歴史や文化を
国内外に発信し、地域の活性化を狙う。
今回を含め計37件となった認定数を、
主管する文化庁は東京オリンピック・パ
ラリンピックが開催される2020年度

までに百件程度まで増やす方針だ。
登録は素直に喜びたいが、全国で百件
まで増えるという事は、認定のインパ
クトが次第に薄れることでもあり、受入
れ体制を地域挙げて整え、他地域に負
けないように魅力を発信し、リピーター
を増やす仕掛けづくりを考えなくてはな
らない。喜んでばかりではいられない。
全国で唯一、往時の高殿(たたら製鉄
炉)が残る雲南市吉田町の菅谷高殿の
施設を管理する朝日光男さん(70)もマ
スコミの取材に対し、「来春からのJRR
西日本の豪華寝台列車トワイライトエ

クスプレス瑞風の立ち寄り観光地にも
決定しており、益々来訪者が多くなる
ことだろうが、駐車場やトイレは絶対的
に不足しており、案内ボランティアの育
成も不可欠と心配は尽きない。
石見銀山遺跡が世界遺産に登録され
た直後、全国から観光客が殺到したも
の、そのマニアックな歴史遺産を紹介
する案内施設やアクセス手段の整備が
後手に回った感もあつた。最近のインバ
ウンド(来日観光客)の急増、その急増
によって困惑する一部観光地の様子を
報道で見るにつけ、覚悟して迎えなけれ

▼ストーリーのタイトル「出雲國たたら風土記く鉄づくり千年が生んだ物語」
(ストーリーの概要) 日本古来の鉄づくり「たたら製鉄」で繁栄した出雲の地では、今日もな
お世界で唯一たたら製鉄の炎が燃え続けています。たたら製鉄は、優れた鉄の生産だけでなく、
原料砂鉄の採取跡地を拡大な稲田に再生し、燃料の木炭山林を永続的に循環利用するという、人
と自然とが共生する持続可能な産業として日本社会を支えてきました。また、鉄の流通は全国
各地の文物をもたらし、都のような華やかな地域文化をも育みまし。今もこの地は、神代の時
代から先人たちが刻んできた鉄づくり千年の物語が終わることなく紡がれています。



は随の町、地を
飯南町、
たたら製鉄
申請には加
たたら製鉄
所で確認で
「道の駅と
んばら」から

ばならない。松江道開通当初の、道の駅
「たたら番地」の混雑どころではない
混乱が懸念される。

誕生!生徒会新執行部



生徒会長経験者(教員)もエールを送る

インターハイ(ボート競技)の
生徒活動拠点校としての活躍にも期待!

生徒会長に選出され
た小林昂貴さん(3年)
を中心に生徒会の新役
員体制が固まり、16名
からなる前期生徒会執
行部の出発式が先頃開
かれた(公欠者あり)。
恩田校長、石橋3年
主任のほか、本校OB
で高校在学中には生徒
会長を経験した駿馬・

高尾の両男子ソフトボー
ル顧問も駆けつけて激励
の言葉を寄せた。
2学期初めの学園祭
(三高祭)の準備だけでなく、
日頃の活動にも期待したいが、
7月末からさくらおろち湖
(尾原ダム湖)を会場とする
「未成年者飲酒喫煙防止キャンペーン」に協力



ボート競技のポスター原画は
高野寛子さん(3年)の作成

4月19日(火)の登校時、
前生徒会長・副会長と新生徒
会長の3名が、校門や三刀屋
バスセンター前で「未成年者
飲酒喫煙防止」を呼びかけた。
「雲南小売酒販組合」・
「出雲たばこ販売協議会」の
要請に応じたもので、地域の
方々と協力して行われ、同様
のキャンペーンは県内各地で
も行われた。



卓球

中国高校選手権県予選

(4/28、29、カミアリーナ)

【男子団体】

▽1回戦

三刀屋0 - ③松江工業

【女子団体】

▽1回戦

三刀屋0 - ③出雲

【男子個人ダブルス】

サッカー

(4/23、出雲農林高校)

合同B(三刀屋・大東)

③、1出雲西B

2016島根県ユースリーグ

▽2回戦進出
山毛翔太(3年)
和泉 僚(2年)

標記リーグ戦は、4月から
の半年間のシーズンで全12試
合を戦う。

部員不足で大東高校との合
同チームで出場した本校は、
今シーズン最初の出雲西高校
Bとの対戦で、前半2点を先
取し、後半に1点を献上する
も3対1で開幕戦勝利でスタ
トした。

『炬火』2015年版
島根県高文連機関誌



『夢追
い』です。』

昨年度の島根県内高校文
化部の活動をまとめた高文
連機関誌『炬火』が4月に
発行され、県内全高校の全
クラスに一冊ずつ配布され
ている。今回初めて

A4判サイズとなった『炬
火』の巻頭カラー頁には、
学校別としては最多タイの
4点の作品・発表写真が掲
載されている。
《今年の全国高総文祭写真
部門大会に参加
する小池ななみ
さん(3年)の
作品写真に誤り
がありました。
出品作は『夢追
い』です。》

吹奏楽

新入生歓迎！ランチ・タイムコンサート

三高の三太郎総出演！

4月13日(水)の昼休み、
毎年恒例のランチタイムコン
サートを行った。軽快な演奏
とコミカルなパフォーマンス
で、中庭のコンサート会場は
大いに盛り上がった。

前日の各種オリエンテーショ
ンに続き、この日は新入生に
とって初めての通常授業で、
緊張続きの新入生の心も明る
く和らいだことだろう。ラン
チタイムコンサートは15日
(金)にも行われた。



華道

(4/29、観音寺/出雲市渡橋町)

新入部員も「新樹の茶会」に



大型連休初日の4月29日
(昭和の日)、新入生5名を
含む茶道部員6名が出雲市渡
橋町の観音寺で開かれた「新
樹の茶会」に出席した。

三斎流(森山宗浦家元)の
門下組織「九曜会」が主催し
た今年の茶会には420名が
招かれ、本校茶道部員も新入
生を中心に参加した。

一般市民や初心者にも親し
みやすい薄茶席と呈茶席が設
けられ、参加した生徒は「緊
張しましたが、隣の方にも色々
教えてもらいました。良い経
験になりました」と感想を語っ
てくれた。

陸上競技

出雲陸上競技大会

(4/23、24、浜山競技場)

【一般男子】

▽1500m

須山泰成(2年) 6位

自己ベストで予選を通過
し、決勝ではさらに3秒

近くタイムを縮め4分16

秒51の記録で6位入賞を

果たした。

【一般女子】

▽100m

小豆澤真帆(2年)

次点(9位)で
決勝進出ならず

小豆澤さんは予選で全体8
位の記録だったが、同タイム
の選手がおり、千分の二秒差
の判定によって惜しくも決勝
進出はならなかった。

前週の全山陰陸上競技大会
に続く今大会では、男子100m
の山田幹さん(3年)が11秒
83、男子400mの西村太志さ
ん(2年)が1分0秒67と、
それぞれ自己記録を更新する
健闘をみせた。県総体までタ
フな大会日程が続くが、体調
管理に気を付け頑張ってもら
いたい。

三高日誌

学級日誌より
(抜粋)

▼4月15日(金)：今週はす
ごく疲れました。3年になっ
たばかりで、新しく選択した
授業が多く、慣れないことば
かりで大変でした。でも、自
分の進路に合った勉強ができ
るのは嬉しいです。(3年)

▼4月19日(火)：まだまだ
生活リズムが作れていないけ
れど、少しずつ慣れてちゃん
と勉強できる時間を確保しな
がら頑張りたいと思います。

今日は(生徒会役員)選挙が
ありましたが、3年後、自分
たちもああい先輩になりました

いと思いました。(1年)

▼4月27日(水)：1年生が
入部して人数も増えて賑やか
になりました。2年生になっ
て、みんな部活に対してやる
気が増えています。1年生に
負けないようなプレーができ
るように、必死で練習してい
ます。(2年)

▼5月2日(月)：大きな地
震の被害にあったことは一度
もないので、実際にはどんな
状況か、被害者の気持ちを考
えてみることにできませんけ
れど、不安な気持ちでずっと
過ごしている人が沢山いると
思います。自分にできること
はないか考えて生活していき
たいです。(1年)
(実際の学級日誌の多くは、
熱い思いを込めた長文で埋め
られています。)



三高新时代への胎動

シリーズ 地域とともに

第21回 持ちつ持たれつ

選手をサポートする地元学生

木次線沿い隣町の島根リハビリテーション学院との交流

日本の25年先の高齢化社会をいく雲南市。様々な課題に対し、前向きにチャレンジする人が生まれ、少しずつ成果を残しつつあります▼雲南市は、子ども、若者、大人による三つのチャレンジを連鎖させ、10年後も、20年後も市民みんなで支え合い、いきいきと暮らせる魅力あるまちづくりに挑戦しています。(雲南市HPより)

募集します

本紙シリーズ「斐伊川今昔物語」または「木次線今昔物語」の編集作業に参加し、地域を元気づける提言をしてみませんか?

本紙編集長が、地域の諸課題と結び付けて考えるお手伝いをします。学年は問いませんが、特に1年生の皆さんにとっては、来年の課題研究テーマ設定にも役立つのではないのでしょうか? チャレンジしてみましよう!(希望者は職員室の総務部教員まで)



↑肩の可動性の評価

怪我のない体作りとパフォーマンス向上をめざして

運動部×島根リハビリテーション学院

前回12月に続き、春休み中に奥出雲町の島根リハビリテーション学院(島リハ)の教員



↑運動機能評価を行っている場面

と学生12名が来校し、男子ソフトボール部がスポーツ障害がいなくするための講義と身体



↑お世話になりました(3月の男子ソフトボール部)。雲南市立病院理学療法士の影山哲士先生にも運動機能評価のサポートをして頂きました。

能力測定を受けた。

また、4月には女子バレーボール部と男子バスケットボール部の計32名が島リハを訪問し、同校の先生と学生11名が筋電図や重心動揺計も活用して身体能力測定を行っていた。女子バレーボール部は前回(12月)と比較すると、柔軟性・筋力ともに向上したという結果が得られた。

学生にとっても、授業で学んだ知識を実践現場で応用していく面白さや、セラピストとして働く楽しさを体感できたとのこと。持ちつ持たれつの関係で、今後も本校部員をサポートしていただきたい。

木次線を含めて、地域の課題を探ってその解決策を考えるためには、まずは客観的な状況をつかむことが必要ですね。以下は「データで見るJR西日本2014」より、1日1km当たりの平均通過人員「輸送密度」の低い順です。

1位	芸備線・東城～備後落合	(25.8km)	8
2位	三江線・三次～江津	(108.1km)	44
5位	芸備線・備後落合～三次	(45.7km)	197
7位	木次線・備後落合～宍道	(81.9km)	245

木次線今昔物語第2回

高速化から取り残された木次線 陰陽連絡の主力は伯備線に

今日のJR木次線の苦境の要因には、米子～岡山間の伯備線と違い、山陽側との連絡路線の役目を果たさなくなったことがある。

大正時代にたたら製鉄の灯が消えるのと前後して、雲南圏域の発展に寄与するために開通した木次線は、備後落合駅から先は芸備線によって三次駅、そして広島駅へとつながり、木次線は陰陽連絡の路線として機能していた。そこに走ったのが急行ちどり号で、芸備線と合流

するターミナル備後落合駅には、高度成長期に百人を超す職員がおり、駅前には2軒の旅館をはじめ食堂、床屋、酒屋などが軒を並べていた。最盛期は夜行を含めて4～5往復が広島と松江・米子を結び、一部には岩国～鳥取間のロングラン列車も存在した。

しかし、国道54号線の整備、モーターゼーションの進展によって、平成2年に木次線から急行ちどり号の姿が消え、その10年後には広島～備後落合間の急行列車も廃止され、以後は広島からの急行列車は三次駅止まりとなった。今や、芸備線はJR西日本で木次線以上に深刻な赤字ローカル線であり、陰陽連絡路線としての役割は全

く果たしていない。

その一方で、山陽新幹線が1972年に岡山まで開通して以降、山陰から京阪神方面に向かう高速路線として伯備線の旅客需要が高まり、その10年後には全線の電化工事を終え、岡山駅までの所要時間を短縮して特急やくも号の運行本数も増えた。この伯備線のような高速化が木次線で実現しなかった理由としては、出雲坂根～三井野原間のスイッチバックに代表されるように、勾配のきつさとスピードを出しにくい曲がりくねったルートの多さにあった。旅客需要拡大のためには、高速化とは真逆からも戦略を練る必要があった。それがトロコ列車の登場につながった。

平成2年3月が最後となった木次線の急行ちどり号。



さんこう 三高92年物語

第24回
初の島根県高等学校総合体育大会
昭和38年
三刀屋高校女子総合第3位



昭和39年の東京オリンピック開催を前に「スポーツ振興法」が制定されたのを背景に、島根県では高体連主催の島根県高等学校総合体育大会を開催することとなった。それ以前より全国高校総体の県予選を種目別に県内各地で開催していたが、全種目を同一開催地で行うことにした。

記念すべき第1回大会は松江市を会場に、昭和38年6月7日から3日間の日程で開催され、三刀屋高校からは9部の男子75名、女子45名の計120名が参加した。当時は大橋川の北側に面した松江市宮陸上競技場で開催された総合開会式では、三高は入場行進に使用する校旗(略旗)がなかったため、バスケットボール部の部旗を利用した。その男子バスケットボール部が第4位、女子ソフトボール部と剣道女子個人の高橋民枝さんが優勝するなどし、女子総合は松江北、安来に続く第3位、男女総合は8位という輝かしい戦績を残した。ちなみに、女子ソフトボール部の下馬評は高くなかったが、以後7年連続優勝という第2期黄金時代を迎えることとなった。

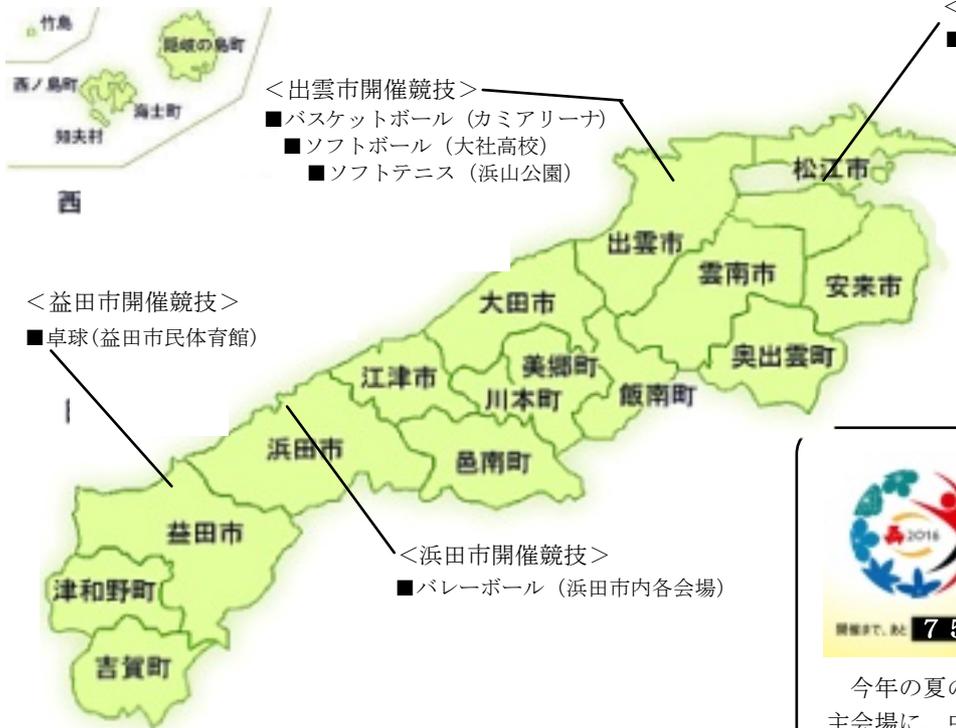


平成28年度〔第54回〕



- 前期：5/27(金)～29(日)
陸上競技・柔道・サッカー
- 後期：6/2(木)～5(日)
ソフトテニス・剣道・ソフトボール
バスケットボール・バレーボール・卓球
(本校部活動関係競技分のみ記載。
開催日は競技によって異なります。)

各競技会場 (本校関係競技分のみ)



- <松江市開催競技>
 - 柔道 (県立武道館)
 - 剣道 (松江市総合体育館)
 - 陸上競技 (松江市宮陸上競技場)
 - サッカー (松江市内高校)
 - 水泳 (県立水泳プール)

各部の目標や見所、対戦相手等については、後日発行する生徒会機関紙『三高NOW』をご覧ください(HPにも掲載します)。



今年の夏の全国高校総体(インターハイ)は広島県を主会場に、中国5県で開催します。

島根県では体操(松江市総合体育館)、柔道(カミアリーナ)、テニス(松江市宮庭球場・安来運動公園庭球場)、そしてボート(さくらおろち湖ボート競技施設)の4競技を行います。

ボート競技は7月28日に雲南市三刀屋文化体育館アスパルで開会式を行い、翌29日から4日間熱戦が繰り広げられます。

ご声援をお願いします



毎号、突貫工事による執筆・編集ながらも、校正には気を使っています。にもかかわらず、老眼も手伝って毎回誤字脱字が、それだけならまだしも(と私が言ってしまう)、「事実誤認の記事もあつたりと、ご迷惑をおかけしております。前号でも大きな誤りが複数ありましたが、発行からしばらく時間をおいて学校ホームページに掲載する際には、記事を訂正しております。ご容赦ください。ところで、ホームページの更新が頻回になったことをご存知ですか?(編集長記)